
	いきいき久間っ子の育成 くま：工夫して学ぶ子 つ：強くてたくましい子 こ：心やさしい子	学校だより  ガンバルンジャーズ	NO. 27 令和5年3月7日 嬉野市立久間小学校 文責 校長 坂本和子
---	--	--	---

『佐賀県学習状況調査』(4・5・6年生)と「CRT」(1・2・3年生)の結果

佐賀県学習状況調査を11月30日(水)・12月1日(木)に実施しました。4年生・5年生は国語と算数の2教科、6年生は国語・社会・算数・理科の4教科の問題に県下の全小生が一齐に取り組みました。数値は、佐賀県の正答率と久間小学校の正答率を比較したものです。(県平均を100とした場合の正答率)

<4年生>

教科	国語	算数
県の正答率との比較	ほぼ同程度	ほぼ同程度
課題	読むこと、記述式	データの活用、思考判断表現、選択式、記述式

<5年生>

教科	国語	算数
県の正答率との比較	5ポイント以上低い	10ポイント以上高い
課題	読むこと、書くこと	図形、選択式

級外も入って指導
しています



<6年生>

教科	国語	社会	算数	理科
県の正答率との比較	ほぼ同程度	5ポイント以上高い	5ポイント以上低い	ほぼ同程度
課題	読むこと 話すこと・聞くこと、記述式	おおむね達成	数と計算、変化と関係 データの活用 知識技能、選択式、記述式	物質・エネルギー

今回はやや厳しい結果になったことを感じています。

職員で誤答分析をして話し合い、残りの学習の中で補充指導をしています。

2年前から新学習指導要領が実施となり、子ども達に求められる力が変わってきていることが問題を見てもわかります。たくさんの情報から、何が必要かを判断して選び、どの方法で解いていくか、道筋を見つけていかなければなりません。まさに、これからの時代を生き抜いていくために、今までの知識・理解だけでなく、自ら考え問題解決していく力が重要になります。また、自分の考えをしっかりとつとめ、多様な考えを尊重することも大切です。授業を通して、新しい問題にどう対応していくかを子ども達と一緒に考えていく必要があります。問題を見ても、全教科問題文が長く、文章を読む体力、言葉を見て理解する力が今まで以上に大事になっていると感じます。つまり、「アナログの力」ということでしょうか。タブレット等で情報は簡単に手に入りますが、それを理解・活用するためには、辞典や本できちんと言葉の意味を理解することが基礎力として必要になります。そういう意味では本校が新聞活用のNIE教育を続けていることの方向性はよいのではないかと考えます。

次に、1.2.3年生は1月17日(火)18日(水)にCRT標準学力テストを行いました。その結果です。

(全国の正答率との比較)

教科	<1年生>	<2年生>	<3年生>
国語	10ポイント以上高い	同程度	10ポイント以上高い
算数	5ポイント以上高い	同程度	5ポイント以上高い

問題集
使っている
活用力の
国語・算数
タイムで



学校では、今年度も国語・算数タイムに使う問題集を『校長先生の知恵袋事業』から半額補助して、活用力が伸びるように全学年で補充学習をしています。その中で、やはり1年生から3年生までの基礎基本の大切さを感じます。学校でも今、各学年の最終段階に入り、基礎基本の徹底を図っているところですが、お渡ししている個票をもとに、ご家庭でも教科書の巻末にある「まとめ」のところなどを話題にいただければ幸いです。

PTA 教育講演会(1月26日)



講師は佐賀新聞でもおなじみの浄土真宗本願寺派 浄誓寺住職で、日本思春期学会理事、日本エイズ学会 会員の古川潤哉さんです。「生と性と死を考える」という演題で、保護者を対象にお話をさせていただきました。

生きることは苦しい。生きづらさの原因にはいろいろあるが、特に「性」についてはきちんと教わっていないことからつらさにつながるものが少なくない。思いがけない妊娠や性感染症、心と体の性の不一致等具体的な例をあげてお話しされ、会場の皆さんも熱心に聞いていらっしゃいました。

その中で、「あなたが大切」というメッセージと「今を精いっぱい生きること。その時できる精一杯でいい。」という願いを子どもに伝えてほしい。また、悩みを打ち明けたり助けを求めたりする力「相談力」を持ってほしい。「助けて、って言っていいんだよ。」と伝えてほしいという言葉が心に残りました。

この講演会はPTA 母親部の企画でした。お世話をしてくださった栗山母親部長さん、上野副会長さん、ありがとうございました。

<アンケートより>

- いかに関心が固定観念にとらわれているのかわかりました。～子供だった頃、「こういうこと言われたらいやだったよな。」と思い出し、子どもに寄り添えたらいいなと思います。また、今のままの子どもを受け入れて「あなたが大切なんだ。大好きなんだ。」ということは何度も何度も伝えて、「自分を大切にできる⇒他者を大切にできる⇒命の大切さを知る」となってほしいです。また、性教育を家庭でするときに、どのようにすればよいのか具体的に教えていただきたいです。学校の先生にお願いするばかりではなく、親も積極的に教えることが必要だと心底思いました。
- 子どもとの接し方や質問への答え方など、考え方を見直そうと思いました。忙しくても子ども一人一人とコミュニケーションをもっと取ろうと思います。「今を精いっぱい生きる」ことを伝えようと思いました。
- 生と性と死について、深い話、そして大切な話をたくさん聞くことができ、学ぶことができました。自分を大切に、相手を大切に、両方を上手に保つことも大切なことを知りました。「大切だよ。」ともっと言葉で伝え、悩みなど、相談相手を持つことも伝えていきたいと思っています。(自分も一番の相談相手だと思っていますが…)
- 自分を好きになりなさいって簡単に言うけど、実際はとても難しいと思っています。私(親)自身がもっと自分を好きにならなきゃと感じました。男の子と女の子3人いますが、性についてはいろいろと気をつかいます。特に女の子は生理が始まってとても敏感です。
- 新聞の記事も読んでいて、実際にお話を聞くことができよかったです。生や性について、わかりやすくお話をされて、参加してよかったと思いました。性について、話す機会を作りたいです。
- 今から思春期が始まってくると、親に伝えたいことも伝えなくなってきたりと思うので、どこかで伝えられる人物を作ってあげる、気づいてあげられるようにしたいと思います。子どもの SOS に気づいてあげられるように。
- 「目からうろこ」と思う話が聞けてよかったです。かえって子どもと共有したいなと思いました。死生観や性教育について、ごによごによ言わないようにしたいです。

平日の開催だったので、参加できなかったという声が届きました。そこで、古川さんが配信をしてくださっています。

古川さんの教育講演会の動画を今月いっぱい YouTube で視聴することができます。スマホ等でご覧ください。

